

# HD-DU2 シリーズ ユーザーズマニュアル

はじめに .....	7	<b>1</b>
セットアップ .....	9	<b>2</b>
使いかた .....	14	<b>3</b>
フォーマット .....	18	<b>4</b>
ダイレクトコピーの使いかた .	33	<b>5</b>
付録 .....	37	<b>6</b>



インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。

<http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html>

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ..... **▲注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... **▶次へ** に続くページは、次にどのページへ進めばよいかを記しています。

## 文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。  
C: ハードディスク  
D: CD-ROMドライブ
- 文中「」で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000<sup>3</sup>byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB = 1024<sup>3</sup>byteで計算されているため、表示される容量が異なります。
- 本書では、Microsoft Windows Millennium EditionをWindowsMe、Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

BUFFALO™は株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機関や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っていません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証していません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。




パソコンの故障/トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

## 使用している表示と絵記号の意味

### 警告表示の意味

 <b>警告</b>	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

### 絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容（例：△ 感電注意）が描かれています。
	に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⊘ 分解禁止）
	は、しなければならない行為を示す記号です。 の近くに、具体的な指示内容（例：● プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## 警告



本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災になったり、感電、故障する恐れがあります。



本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。



電源プラグを  
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを  
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。



禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- ・設置時に、電源コードを壁やラック（棚）の間にはさみ込んだりしないでください。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- ・熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・極端に折り曲げないでください。
- ・電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。



強制

小さなお子様電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。



強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。



強制

USBケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。

本製品付属以外のUSBケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。



強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。  
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災  
や感電の恐れがあります。

## 注意



禁止

ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機  
器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットした  
りしないでください。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責  
任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。  
各接続コネクタには手を触れないでください。  
故障の原因となります。



禁止

本製品の上に物を置かないでください。  
傷がついたり、故障の原因となります。



禁止

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。  
故障の原因となります。



禁止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システ  
ムをリセットしたりしないでください。



禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。  
本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、き  
れいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブ  
やアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてく  
ださい。  
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れが  
あります。



強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱い、各マニュアルをよく読んで、各メー  
カの定める手順に従ってください。



強制

電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。  
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。



強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

- ・誤った使い方をしたとき
- ・静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・故障、修理などのとき
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- ・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・強い磁界や静電気が発生するところ
- ・直射日光が当たるところ
- ・ほこりの多いところ
- ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ・振動が発生するところ      けが、故障、破損の原因となります。
- ・平らでないところ      転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- ・火気の周辺、または熱気のかもところ  
故障や変形の原因となります。
- ・漏電または漏水の危険があるところ  
故障や感電の原因となります。



禁止

本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などがぶせないようにしてください。



強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。  
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

# 目次

## 1 はじめに ..... 7

特長 ..... 7

各部の名称 ..... 7

電源の ON/OFF ..... 8

## 2 セットアップ ..... 9

セットアップのながれ ..... 9

Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順 ..... 10

Macintosh でのセットアップ手順 ..... 12

## 3 使いかた ..... 14

使用上の注意 ..... 14

本製品の取り外しかた ..... 16

WindowsMe ..... 16

Windows98SE/98 ..... 16

WindowsXP/2000 ..... 17

Macintosh ..... 17

## 4 フォーマット ..... 18

ご注意 ..... 18

フォーマットのしかた ..... 18

WindowsXP/2000 をお使いの方へ ..... 19

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 ..... 20

DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】	22
フォーマットする前に	22
ダイレクトコピー機能を使用する場合	22
全ての領域をNTFS形式でフォーマットする場合	25
MacOS8.6 ~ 9.2.2	30
MacOS 10.0.4以降	31

## 5   ダイレクトコピーの使いかた ..... 33

制限事項	33
ダイレクトコピー機能	33

## 6   付録 ..... 37

バックアップ	37
バックアップの必要性	37
バックアップ用のメディア	37
バックアップデータの復元 (リストア)	37
メンテナンス	38
ハードディスクのエラーチェック (スキャンディスク)	38
ハードディスクの最適化 (デフラグ)	38
特定のソフトウェアが使用できない場合	38
Disk Formatter のアンインストール (Windows)	39
仕様	40



# 1

## はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

### 特長

ダイレクトコピー機能搭載【Windowsのみ対応】  
本製品はパソコンに接続しなくても直接USBマスストレージクラス製品( )から本製品へ直接データをコピーすることができます。【P33】

USB マスストレージ製品とは、一般的にUSBケーブルで接続するだけでパソコンからドライブとして認識できる製品(デジタルカメラやカードリーダー、USBフラッシュディスク)のことです。

**△注意** Macintosh ではダイレクトコピー機能を使用できません。

USBポート(シリーズA)に接続可能  
パソコンやUSBハブのUSBポート(シリーズA)に接続できます。

USBポートが装備されていないパソコンを使用している場合は、別売の弊社製USBボードを使用してください。

プラグ&プレイ、ホットプラグに対応  
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P16「本製品の取り外しかた」】

本製品を、USB2.0で規定されているHSモード( )で使用するには、弊社製USB2.0インターフェース(またはUSB2.0に対応したパソコン本体)が必要です。

最大転送速度480Mbps(理論値)

本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません(OSを起動できません)。あらかじめご了承ください。

### 各部の名称

前面

コピーボタン  
【P33「ダイレクトコピー機能の使いかた」】

電源ランプ(緑)  
動作可能ときに点灯します。  
電源ON時：点灯

アクセスランプ  
アクセス時に点灯します。  
USB2.0接続時：赤色  
USB1.1接続時：緑色

ダイレクトコピーランプ  
(HDDランプ、USBランプ)  
【P33「ダイレクトコピー機能の使いかた」】

USBコネクタ(シリーズA)  
【P33「ダイレクトコピー機能の使いかた」】

背面

電源スイッチ

AUTO電源機能切替スイッチ

USBコネクタ(シリーズB)  
付属のUSBケーブルでパソコンへ接続します。

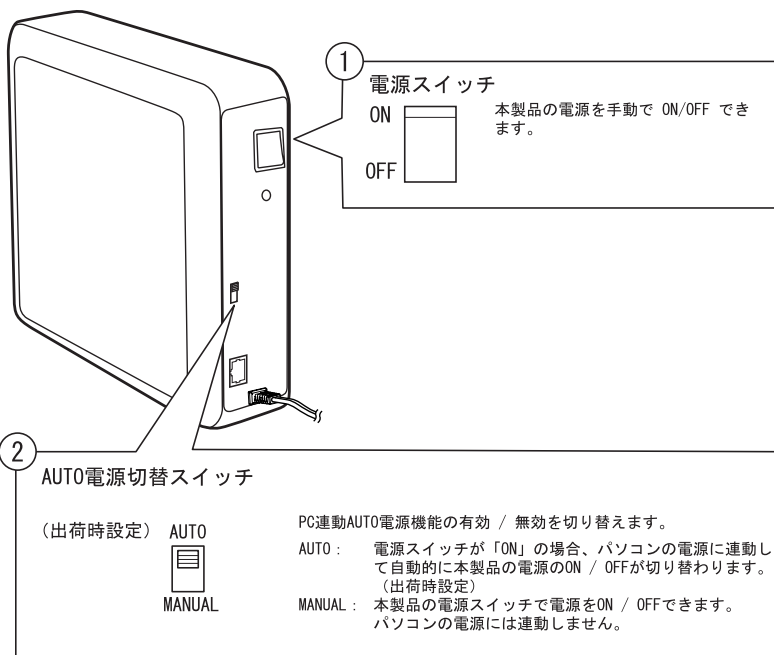
電源コネクタ

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

# 電源のON/OFF

本製品の電源は、「PC連動AUTO電源機能」によってパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて自動でON/OFFすることも、手動でON/OFFすることもできます。

出荷時は、PC連動AUTO電源機能が有効になっています。



## △注意 Mac OS X 10.0.4以降をお使いの方へ

Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」に設定してください。「MANUAL」に設定すると、本製品がマウントされないことがあります。

## △注意 「PC連動AUTO電源機能」使用時の注意

パソコンによっては、パソコン本体の電源をOFFにしても本製品の電源がOFFにならないことがあります。この場合は、本製品のAUTO電源機能切替スイッチを「MANUAL」にし、本製品の電源スイッチを操作してON/OFFを切り替えてください。

# 2

## セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

### セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

メモ  内の手順については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

#### Windows搭載パソコン

本製品の電源ケーブルを  
コンセントに接続する

パソコンの電源スイッチをONにする

Windows98SE/98の場合は、付属の  
「HD-DU2シリーズユーティリティCD」を  
CD-ROMドライブにセットする

Windows98SE/98の場合は、  
「簡単セットアップ」が起動したら、  
画面の指示に従って操作する

本製品をパソコンに接続する

これで本製品が使用できるようになります。

本製品は、出荷時にFAT32形式(1パーティション)で論理フォーマットされていますので、改めてフォーマットする必要はありません。本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合のみフォーマットしてください。

#### Macintosh

本製品の電源ケーブルを  
コンセントに接続する

パソコンの電源スイッチをONにする

本製品をパソコンに接続する

- Mac OS 8.6～9.2.2の場合  
Mac OSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)することをお勧めします【P30】。フォーマットせずに使用した場合、ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
- Mac OS X 10.0.4以降の場合  
Mac OSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)する【P31】。

2

セ  
ッ  
ト  
ア  
ッ  
プ


# Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順

詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンスモード」になっていることを確認してください。

アドバンスモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンスモードに変更してください。

## ・モードの確認方法

タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ  の色で確認できます。

赤	アドバンスモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンスモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード / カスタムモード	アドバンスモードに設定を変更してください。

## ・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法

再起動後もアドバンスモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

[スタート]-[プログラム]-[CyberTrio-NX]-[Go To アドバンスモード]の順に選択します。アドバンスモードに切り替わります。

[スタート]-[プログラム]-[CyberTrio-NX]-[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。

[CyberTrio-NXのプロパティ]画面が表示されます。[アドバンスモード]を選択して[OK]をクリックします。

以上でアドバンスモードに設定されました。

本製品のドライバをインストールした後は、アドバンスモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

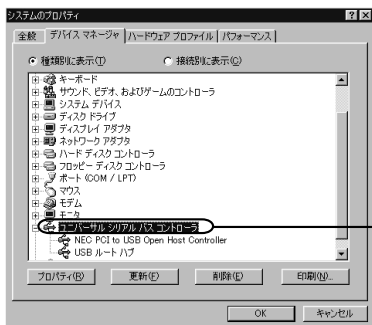
Windows98(Second Editionを除く)を使用しているときは、次の確認を行ってください。

[マイ コンピュータ] を右クリックします。

メニューが表示されたら、[プロパティ] をクリックします。

[デバイス マネージャ] をクリックします。

[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。



[NEC PCI to USB Open Host Controller]と表示されている場合は、Windows98 System Updateをインストールする必要があります。[NEC PCI to USB Open Host Controller]が表示されていない場合は、Windows98 System Updateのインストールは不要です。

Windows98 System Updateは、マイクロソフト社のWindows Updateサイト (<http://windowsupdate.microsoft.com/>) でインストールができます。

次のページへ続く

❏メモ 本製品のドライバがインストールされると、[ デバイス マネージャ ] ( 1 )に次のデバイスが追加されます。

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsMe	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス (※2)
	記憶装置	USBディスク
Windows98SE/98	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
	ハード ディスク コントローラ	USB2-IDE Mass Strage Controller
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB2-IDE Bridge Adapter
WindowsXP/2000	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス

1 [ デバイス マネージャ ]は次の方法で表示できます。

WindowsMe/98SE/98 .. [ マイ コンピュータ ]を右クリック [ プロパティ ]をクリック [ デバイス マネージャ ]をクリック

WindowsXP ..... [ スタート ]をクリック [ マイ コンピュータ ]を右クリック  
[ 管理 ]をクリック [ デバイス マネージャ ]をクリック

Windows2000 ..... [ マイ コンピュータ ]を右クリック [ 管理 ]をクリック  
[ デバイス マネージャ ]をクリック

2 緑色の丸に白字で「？」と表示されます。これは、Windows付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

- ❏メモ
- ・本製品は、出荷時にFAT32形式( 1パーティション )で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。
  - ・本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

# Macintoshでのセットアップ手順

パソコンに本製品を接続します。

**△注意** ・別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめ本製品に縦置き用スタンド(またはゴム足)を取り付けておいてください。

## 1 本製品とパソコンの電源スイッチをONにします。

Mac OS 8.6をお使いの方へ

バージョン1.3.3f2未満( )のUSB Managerがインストールされている環境では、本製品を使用することができません。Apple社ホームページ(<http://www.apple.co.jp/>)より、USB Mass Storage Supportソフトウェアをダウンロードしインストールするか、Mac OS を9.04以降にアップデートすることで使用できるようになります。バージョン1.3.3f2以上のUSB Managerがインストールされている環境では、そのまま取り付けて使用できます。

USB Managerのバージョン確認手順

[アップルメニュー]-[Apple システム・プロフィール]-[デバイスとボリューム](または[装置とボリューム])-USB項目に表示されているバージョンを確認

## 2 付属のUSBケーブルを本製品のUSBコネクタに接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

< USBケーブルのコネクタ形状 >

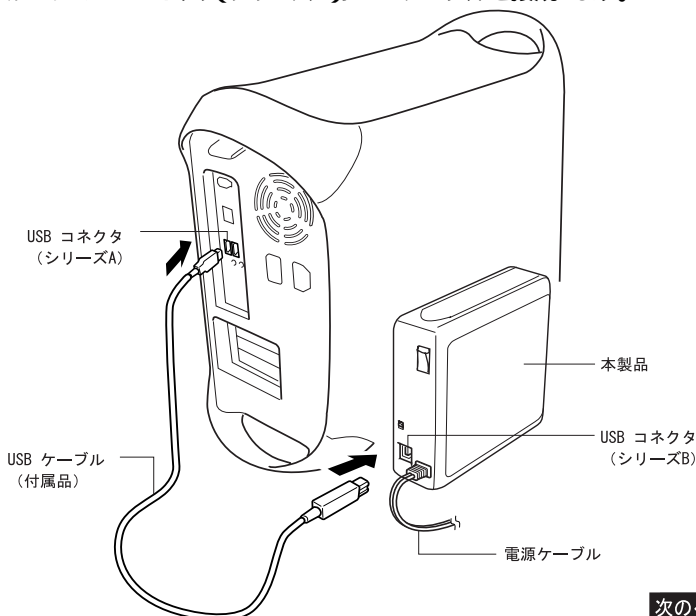


シリーズA  
(パソコン側に接続)



シリーズB  
(本製品に接続)

## 3 パソコンのUSBコネクタ(シリーズA)にUSBケーブルを接続します。

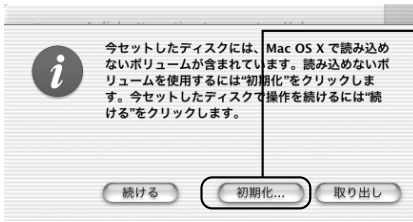


次のページへ続く

## Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合

本製品を接続すると、以下の画面が表示されますので、「初期化 ...」をクリックしてください。

1



「初期化...」をクリックします。クリックすると、「Disk Utility」が起動します。

この画面は、Mac OS X 10.1の画面です。Mac OS X 10.0.4では、少し画面が異なります。

2 Disk Utilityが起動したら、「Mac OS X 10.0.4以降」(P31)の手順4以降に従って本製品を初期化します。

**次へ** 本製品を初期化します。【P31「MacOS X 10.0.4以降」】

以上で本製品の接続は完了です。

**メモ** 正常に接続されていれば、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。本製品のアイコンが追加されない場合は、以下のことを確認してください。

- ・本製品の電源がONになっているか。
- ・USBケーブルや電源ケーブルは正しく接続されているか。

**次へ** ・MacOS 8.6～9.2.2でご使用の場合は本製品が使用できるようになりますが、MacOS拡張フォーマットで初期化を行うことをお勧めします。MacOS拡張フォーマットで初期化しない場合、ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。

- ・MacOS X 10.0.4以降でご使用の場合は、続いて本製品をフォーマットします。

2

セッ  
トア  
ッ

## 使用上の注意

- △注意** ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
- ・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
  - ・パソコン本体の省電力モード(スタンバイ、休止状態、スリープなど)は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

PC連動AUTO電源機能について

- ・本製品のスイッチを正しく設定すると、USBから電源が供給されたときに電源がONになります。【P8】
- ・本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- ・ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしても本製品のパワーランプは消えません。本製品の電源をOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。

MacOS X 10.0.4以降をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット(初期化)してください。【P31】

MacOS8.6 搭載のMacintoshでは、本製品の電源スイッチをONにした状態でパソコンを起動することはできません(PC連動AUTO電源機能は使用できません)。パソコン起動前に本製品の電源スイッチをOFFにしておき、パソコン起動後に電源スイッチをONにしてください。本製品の電源スイッチをONにしたままパソコンを起動すると、本製品が正常に動作しません。

MacOSの他のバージョンが搭載されている場合、上記の問題は発生しません。MacOSのバージョンは、アップルメニューの[このコンピュータについて]または[このMacについて]をクリックすると表示されます。

本製品はホットプラグに対応しています。

本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差してできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P16「本製品の取り外しかた」】

**△注意** 本製品にアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損するおそれがあります。

パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

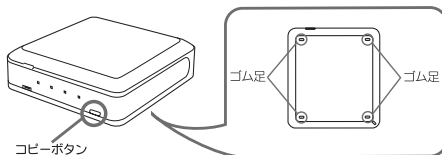
本製品からOSを起動することはできません。

次のページへ続く



本製品を横置きにする場合  
付属のゴム足(4個)を本製品の底面のくぼみに  
貼り付けてください。  
ゴム足には両面テープが付いています。

- △注意**・右図のとおりゴム足を取り付けて  
ください。  
・本製品を積み重ねないでください。



WindowsXP搭載のパソコンで使用する場合

本製品をUSB1.1準拠のUSBコネクタに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないIUSBハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合は、[ × ]をクリックしてください。

本製品に保存できる1ファイルの最大容量は4GBです。

本製品はFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルの最大容量が4GBとなります。WindowsXP/2000やMacOSをお使いの場合には、NTFS形式やMacOS拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット(初期化)すれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できるようになります。

- △注意** ダイレクトコピー機能はFAT132/16形式のみの対応です。ダイレクトコピー機能を使用するためには、本製品の全ての領域または第一パーティションがFAT32/16形式でフォーマットされている必要があります。NTFS形式やMacOS拡張形式で本製品の全ての領域または第一パーティションをフォーマットした場合、ダイレクトコピー機能は使用できません。

WindowsMe/98SE/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。

パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

ダイレクトコピー機能はWindowsのみ対応です。Macintoshではダイレクトコピー機能は使用できません。

Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。

取り外さないでリカバリできません。

本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品作動時は布などをかぶせないようにしてください。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。

本製品の動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

3

使  
い  
か  
た


# 本製品の取り外しかた

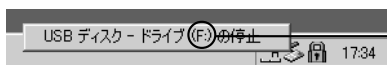
パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で本製品を取り外します。

☒ **メモ** パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

## WindowsMe

⚠ **注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

- 1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。
- 2 メニューが表示されたら、[ USB ディスク - ドライブ(X:) の停止 ]をクリックします。  
下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



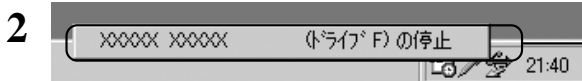
本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

- 3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[ OK ] をクリックします。
- 4 本製品を取り外します。

## Windows98SE/98

⚠ **注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

- 1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。





ドライブ名(製品によって異なります)をクリックします。

- 3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[ OK ] をクリックします。
- 4 本製品を取り外します。

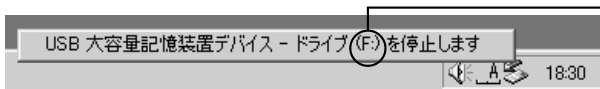
**△注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。また、本製品にNTFSでフォーマット【P22 「DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】】したパーティションがあるかどうかによって、取り外しの手順は異なります。以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

## NTFS でフォーマットしたパーティションがない場合

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WindowsXP) /  (Windows2000) をクリックします。


2 メニューが表示されたら、[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:) を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。  
WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 [USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。]と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

 WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません(表示は自動的に消えます)。

## NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合

**△注意** パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。

1 WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。

2 本製品を取り外します。

## Macintosh

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク(本製品)のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

**△注意** 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 本製品を取り外します。

# 4

## フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

### ご注意

本製品は出荷時に FAT32 形式（1パーティション）でフォーマットされています。Windows や MacOS 8.6 ~ 9.2.2 でご使用になる場合、通常はそのままの状態でご使用いただけます。

**本製品を複数の領域に分けて使用したり（ 1）、ファイル名に2バイトコード文字（全角文字）を使用する場合（ 2）、MacOS X 10.0.4 以降でご使用になる場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。**

- 1 MacOS 8.6 ~ 9.2.2では、本製品を複数の領域に分けて使用できません。
- 2 MacOS 8.6 ~ 9.2.2をお使いの場合のみ。

フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。

**ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、後の動作についても保証できません。ご注意ください。**

フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。

WindowsXP/2000をお使いの場合、全ての領域または第一パーティションをNTFS形式でフォーマットすると、本製品のダイレクトコピー機能が使用できなくなります。ダイレクトコピー機能をお使いになる場合は、全ての領域をFAT16/32形式でフォーマットするか、「ダイレクトコピー機能を使用する場合」（P22）の手順でフォーマットしてください。

**ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。**

誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

### フォーマットのしかた

使用しているOSに応じて、次のページを参照してください。

- WindowsXP/2000.....【P19】
- WindowsMe/98SE.....【P20】
- MacOS8.6 ~ 9.2.2 .....【P30】
- Mac OS X 10.0.4以降 .....【P31】

次のページへ続く

# WindowsXP/2000 をお使いの方へ

WindowsXP/2000 をお使いの場合、2種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

キャプチャを使っている  
キャプチャボードなどでテレビやビデオの  
映像を録画したデータを本製品に保存  
する場合。

DVDを作ることがある  
本製品を取り付けたパソコンでDVD-  
Videoやデータディスク(DVD)を作成する  
場合。

容量が4GB以上のファイルを保存したい  
1ファイルが4GB以上の容量を持つファイル  
を本製品に保存したい場合。

NTFS形式でフォーマットしたい  
本製品をNTFS形式でフォーマットしたい  
場合。

「DVD作成やキャプチャを行う(1  
ファイルの容量が4GBを超える  
可能性がある)場合

【WindowsXP/2000のみ】

【P22】

1ファイルが4GBを超えるファイルを保存する  
ことができます。

本製品をNTFS形式でフォーマットします。

**△注意** この手順でフォーマットした場合、  
WindowsMe/98SE/98/95、  
Macintoshなどからアクセスはできま  
せん。

簡単にフォーマットしたい  
簡単にフォーマットしたい場合。ただし、  
1ファイルの容量が4GB以上のファイルは  
保存できません。

マルチブート環境などで他のOSからもア  
クセスしたい

WindowsXP/2000の他に、WindowsMe/  
98SE/98などからアクセスしたい場合。

FAT32またはFAT16形式でフォーマッ  
トしたい

本製品をFAT32形式またはFAT16形  
式でフォーマットしたい場合。

「WindowsXP/2000/Me/98SE/98  
をお使いの場合」【P20】

簡単にフォーマットすることができます。また、  
マルチブート環境での使用に適しています。  
本製品をFAT32形式またはFAT16形式で  
フォーマットします。

**△注意** 1ファイルが4GB以上のファイルを保  
存できません。

# WindowsXP/2000/Me/98SE/98

**△注意** FAT32 形式でフォーマットした場合、1 ファイルの最大容量は 4GB となります。WindowsXP/2000 をお使いの場合には、【P22 「DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】】の方法でフォーマットすれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できます。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。  
フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

[スタート] - [プログラム] - [MELCO INC] - [DISK FORMATTER] - [DISK FORMATTER] の順に選択し、Disk Formatter を起動します。

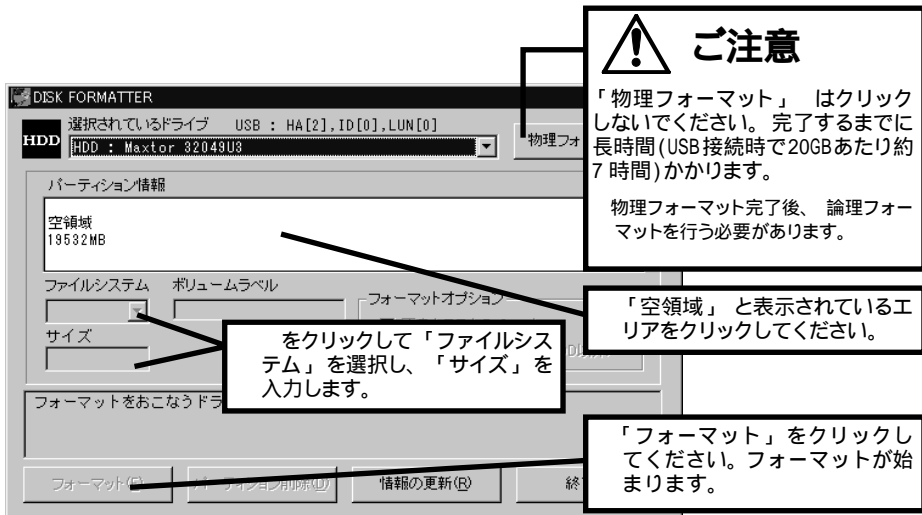
をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

領域をクリックします。

「パーティション削除」をクリックします。  
「本当に削除してよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックします。  
現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く



「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、[OK] をクリックし、P16 の手順にて、いったん本製品をパソコンから取り外します。

再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

**△注意** 137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ

137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する場合は、1パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

**△注意** ・フォーマットするドライブを間違えないでください。

・FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。

**□メモ**

・2047MB を超える容量を1つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム] に [FAT32] を選択してください。[FAT16] では、1つの領域は最大 2047MB となります。

・Disk Formatter に関する詳細は、付属の「HD-DU2 シリーズユーティリティ CD」に収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」(diskformatter.pdf ファイル) を参照してください。

## DVD 作成やキャプチャを行う(1 ファイルの容量が 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】

NTFS 形式でフォーマットすると、4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。ここでは、NTFS 形式でのフォーマット方法を説明します。

### フォーマットする前に

本製品のダイレクトコピー機能を使うためには、本製品の第一パーティションを FAT16/32 形式でフォーマットする必要があります。全ての領域を NTFS 形式でフォーマットするとダイレクトコピー機能が使用できなくなります。そのため、フォーマットの手順はダイレクトコピーを使用するかしないかによって異なります。用途に合わせて以下のページに進んでください。

ダイレクトコピー機能を使う  
ダイレクトコピー機能を使用できます。ただし、  
全ての領域を NTFS 形式でフォーマットすることは  
できません。



「ダイレクトコピー機能を使用  
する場合」【P22】

全ての領域を NTFS 形式でフォーマットする  
全ての領域を NTFS 形式でフォーマットします。  
ただし、ダイレクトコピー機能は使用できなくな  
ります。



「全ての領域を NTFS 形式で  
フォーマットする場合」【P25】

### ダイレクトコピー機能を使用する場合

ダイレクトコピー機能をお使いになる場合、本製品の第一パーティションが FAT32/16 形式でフォーマットされている必要があります。NTFS 形式でフォーマットする場合は、以下の手順で第一パーティションを FAT32 形式でフォーマットしてから、第2パーティション以降を NTFS 形式でフォーマットしてください。

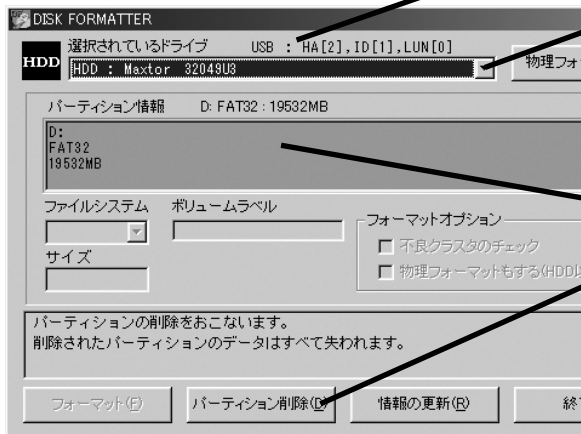
**△注意** コンピュータの管理者権限があるユーザー（Administrator 等）でログインしてください。WindowsXP/2000 で登録したユーザーは、制限つきアカウントに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。WindowsXP で、ユーザーアカウントの権限を確認するには、[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] を選択してください。

- 1 [スタート] [(すべての) プログラム] [MELCO INC] [DISK FORMATTER] [DISK FORMATTER] を順に選択し、Disk Formatter を起動します。

次のページへ続く



## 2



をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

領域をクリックします。

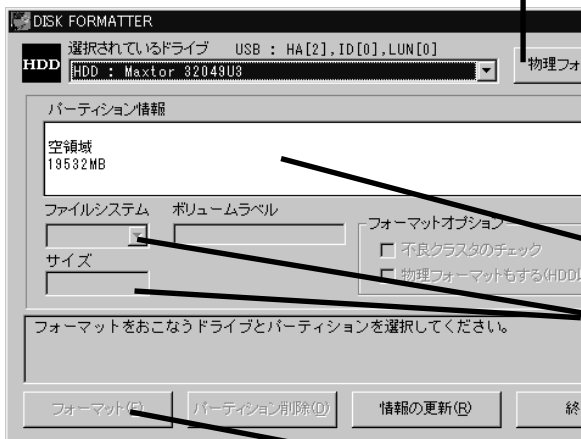
「パーティション削除」をクリックします。

「本当に削除してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

## 3



### ご注意

「物理フォーマット」はクリックしないでください。完了するまでに長時間(USB接続時で20GBあたり約7時間)がかかります。

物理フォーマット完了後、論理フォーマットを行う必要があります。

「空領域」と表示されているエリアをクリックしてください。

をクリックして「ファイルシステム」に[FAT32]または[FAT16]を選択し、「サイズ」を入力します。

「フォーマット」をクリックしてください。フォーマットが始まります。

- △注意** ・ここでは、本製品の全領域をフォーマットしないでください。ここでフォーマットする領域(サイズ)は、ダイレクトコピー使用際にコピー用の領域として使用します。
- ・DiskFormatter でフォーマットした領域には、1 ファイル 4GB 以上の容量を保存できません。4GB 以上のファイルは、以後の手順でフォーマットする NTFS 形式の領域に保存してください。

次のページへ続く

## 4

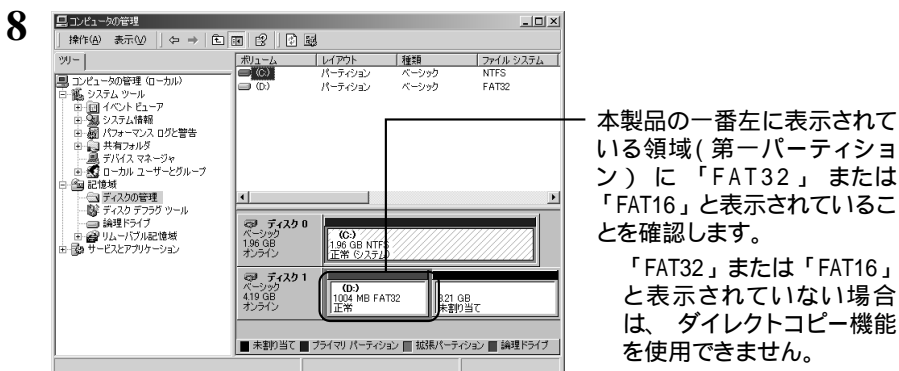
4 「フォーマットは終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

5 P16の手順でいったん本製品をパソコンから取り外し、再度パソコンへ接続します。  
手順3でフォーマットした部分が有効になります。

6 デスクトップにある[マイコンピュータ]を右クリックし、[管理]をクリックします。

### WindowsXPの場合

[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックし、[管理]をクリックします。



9 以降はP26の手順8以降の手順で本製品の未割り当て領域をNTFS形式でフォーマットしてください。

**注意** FAT16/32でフォーマットした領域(第一パーティション)には、1ファイル4GB以上の容量を保存できません。4GB以上のファイルを保存する場合には、NTFSでフォーマットした領域をお使いください。

**注意** ・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。  
ダイナミックディスクについては、Windowsのヘルプを参照してください。

- ・マルチブート環境などで他のOSからアクセスする場合は、NTFS形式でフォーマットしないでください。他のOSからはファイルを参照できません。
- ・説明では、Windows2000の画面を使用しています。

# 全ての領域を NTFS 形式でフォーマットする場合

ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

**△注意** 以下の手順を行うとダイレクトコピー機能は使用できません。ダイレクトコピー機能を使用するには、「ダイレクトコピー機能を使用する場合」(P22)を参照してください。

- △注意** ・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
- ・マルチブート環境などで他の OS からアクセスする場合は、NTFS 形式でフォーマットしないでください。他の OS からはファイルを参照できません。
- ・以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。

- 1 WindowsXP/2000を起動し、コンピュータの管理者権限(Administratorなど)があるユーザーでログオンします。
- 2 デスクトップにある [マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。

## WindowsXP の場合

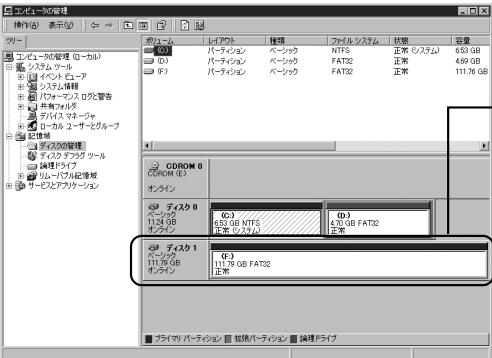
[スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。

3



[ ディスクの管理 ] をクリックします。

4



本製品に割り当てられているドライブを確認します。

ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

次のページへ続く

5



本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

[パーティションの削除]をクリックします。

6

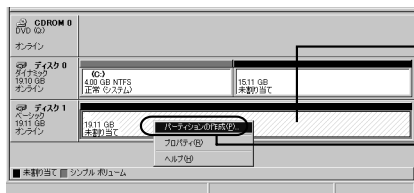
「パーティションを削除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。  
パーティションが削除されます。

7



未割り当て領域が表示されます。

8



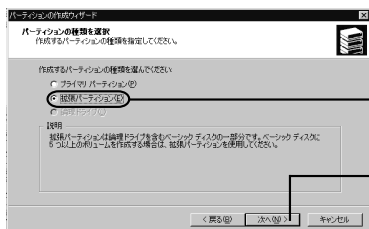
未割り当て領域を右クリックします。

[パーティションの作成] (WindowsXPの場合は[新しいパーティション])をクリックします。

9

[パーティションの作成ウィザードの開始] (WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの開始])と表示されたら、[次へ]をクリックします。

10

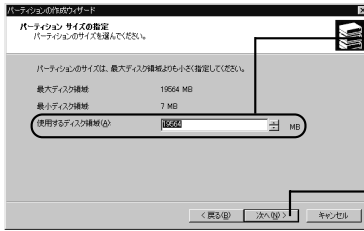


[拡張パーティション] をクリックして (・) を付けます。

[次へ] をクリックします。

次のページへ続く

11



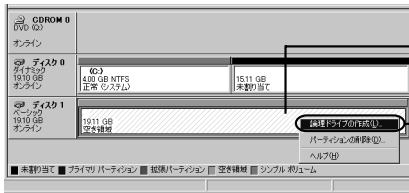
[使用するディスク領域] でサイズを指定します (WindowsXP の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

[次へ] をクリックします。

12

[パーティションの作成ウィザードの完了] (WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]) と表示されたら、[完了] をクリックします。

13



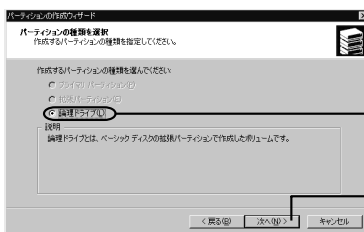
空き領域を右クリックします。

[論理ドライブの作成] (WindowsXP の場合は [新しい論理ドライブ]) をクリックします。

14

[パーティションの作成ウィザードの開始] (WindowsXP の場合は [新しいパーティションウィザードの開始]) と表示されたら、[次へ] をクリックします。

15



[論理ドライブ] が選択されていることを確認します。

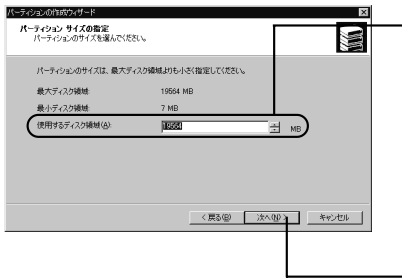
[次へ] をクリックします。

次のページへ続く

4

フ  
ォ  
ー  
ム  
ア  
ト

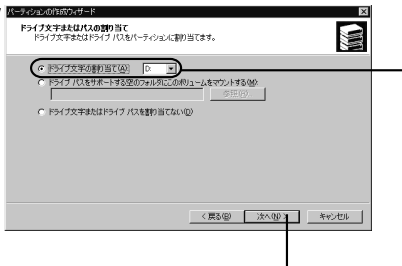
## 16



[使用するディスク領域] でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します)。サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

[次へ] をクリックします。

## 17

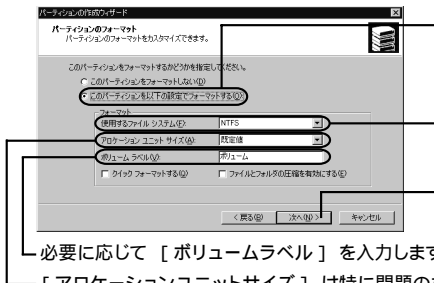


[ドライブ文字の割り当て] (WindowsXP の場合は[次のドライブ文字を割り当てる]) をクリックし、ドライブ文字を指定します。

特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

[次へ] をクリックします。

## 18 フォーマット形式などを設定します。



[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] をクリックし、(・) を付けます。

[NTFS] を選択します。

各項目を設定したら、[次へ] をクリックします。

必要に応じて [ボリュームラベル] を入力します。


[アロケーションユニットサイズ] は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

**注意** 本製品にパーティションが1つも存在しないときは、[クイックフォーマットする] にチェックマーク(✓)を付けなくてください。チェックマーク(✓)を付けると、フォーマットが正常に終了しません。

次のページへ続く

## 19 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了])と表示されたら、[完了]をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

 フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の [フォーマットの中止] をクリックします。

## 20




フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

- 1 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット] を選択します。
- 2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ] をクリックします。  
**△注意** [クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。
- 3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

# Mac OS8.6 ~ 9.2.2

ここでは例として、本製品をMacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

- △注意**
- ・MacOS8.6 で本製品をご使用になる場合、事前にドライバがインストールされている必要があります。ドライバがインストールされていない場合は、「Macintosh でのセットアップ手順」(P12)を参照してドライバをインストールしてください。
  - ・フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。

1 [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ]をクリックします。

2



「File Exchange」の左の[×]をクリックし、[ ]にします。

[再起動] をクリックします。

3 パソコンが再起動したら、本製品を接続します。

「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージが表示された場合

ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

4 デスクトップ上にあるHD-DU2 のディスクアイコンをクリックして選択します。

5 画面上部にあるメニューバーの [特別] をクリックし、[ディスクの初期化] をクリックします。

6 「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に[Mac OS 拡張]を選択して [初期化] をクリックします。  
本製品の初期化が始まります。

7 [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ]をクリックします。

8 「File Exchange」の左の[ ]をクリックして[×]にし、[再起動]をクリックします。  
パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。



# Mac OS X 10.0.4 以降

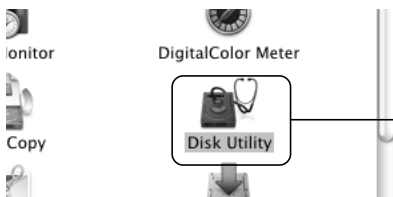
Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

**△注意** フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。

1 デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。

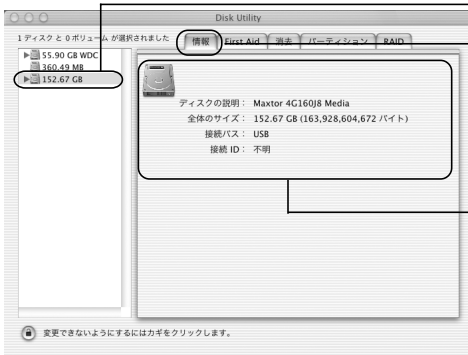
2 [Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。

3



[Disk Utility] をダブルクリックします。  
[Disk Utility] が起動します。

4 Mac OS 10.1 の画面



フォーマットするディスクをクリックします。

[情報] をクリックします。

フォーマットするディスクの情報を確認します。  
ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS 10.0.4 の画面



[Drive Setup] をクリックします。

フォーマットするディスクをクリックします。

フォーマットするディスクの情報を確認します。  
ディスクの情報は製品によって異なります。

次のページへ続く

## 5 Mac OS 10.1 の画面



[パーティション] をクリックします。

パーティション情報を設定します。  
フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

[OK] をクリックします。

## Mac OS 10.0.4 の画面



[パーティション] をクリックします。

パーティション方式（作成するパーティションの数）を設定します。

パーティション情報を設定します。  
フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

[パーティション] をクリックします。

設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。  
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

## 6 「(略)この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか?」と表示されたら、[パーティション]をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

# 5

## ダイレクトコピーの使いかた

本製品は、パソコンに接続しなくても USB マスストレージクラス製品 (デジタルカメラやカードリーダー、USB フラッシュディスク) から本製品へ直接データをコピーすることができます。

### 制限事項

ダイレクトコピー機能は Windows 専用です。Macintosh では使用できません。

本製品の USB コネクタ (シリーズ A) に接続できるのは、USB マスストレージクラス製品のみです。それ以外のデバイスは接続しないでください。USB マスストレージクラス製品とは、一般的に USB ケーブルを接続するだけでパソコンからドライブとして認識できる製品 (デジタルカメラやカードリーダー、USB フラッシュディスク) のことです。

本製品は、以下の状態である必要があります (それ以外のフォーマット形式や未フォーマットの状態では、ダイレクトコピー機能は使用できません)。

- ・ 出荷時状態のとき
- ・ 本製品の全領域または第一パーティションを付属の「DiskFormatter」を使用して FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしたとき
- ・ P22 の手順でフォーマットしたとき【WindowsXP/2000 のみ】

USB マスストレージクラス製品は、FAT16 形式または FAT32 形式でフォーマットしてある必要があります。それ以外のフォーマット形式や未フォーマットの状態では、ダイレクトコピー機能は使用できません。

コピーできる 1 ファイルの最大容量は本製品の第一パーティション (または全領域) のフォーマット形式によって異なります。FAT16 形式の場合は約 2GB、FAT32 形式の場合は約 4GB になります。

ダイレクトコピー機能に関するお問い合わせは USB マスストレージクラス製品 (デジタルカメラなど) のメーカーでは承っておりません。対応機種の確認やお問い合わせは、弊社ホームページ ([buffalo.jp](http://buffalo.jp)) でご確認ください。か、弊社サポートセンターへお問い合わせください。【別紙「安全にお使いいただくために必ずお守りください」】

### ダイレクトコピー機能

ダイレクトコピー機能を使用するときは、本製品をパソコンに接続しないでください。接続しているとダイレクトコピー機能は有効になりません。接続しているときはパソコンの電源スイッチを OFF にするか、パソコンと接続している USB ケーブルを取り外してください。

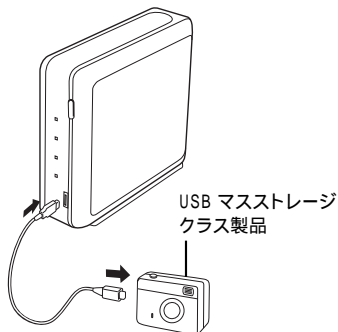
#### 1 本製品の電源スイッチを ON にします。

次のページへ続く

2 USB マスストレージクラス製品にUSB ケーブルを接続します。

3 本製品のUSB コネクタ (シリーズA) にUSB ケーブルを接続します。

**△注意** USB 2.0 機器を接続してもUSB1.1 の転送速度となります。



- △注意**
- ・USB マスストレージクラス製品が電池を使用するタイプのときは、電池の残量が十分であることを確認してください。コピー中に残量がなくなるとデータを壊すおそれがあります。
  - ・USB マスストレージ製品によっては(デジタルカメラなど)、データを転送するために設定を変更する必要がある場合があります。お使いのUSB マスストレージ製品のマニュアルを参照して、パソコンにデータを転送する場合の設定をご確認ください。

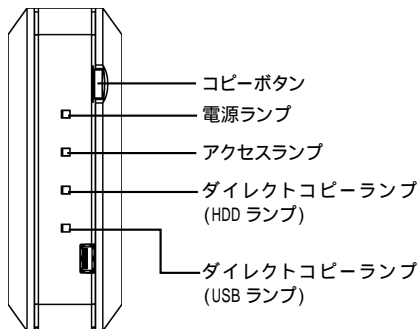
4 ダイレクトコピーランプ (HDD ランプ、USB ランプ) がどちらも点灯していることを確認します。

5 コピーボタンを押します。  
データのコピーが始まります。

**☒メモ** ・コピーが終了するまではUSB ケーブルやメディアを取り外さないでください。データを破損するおそれがあります。

・コピーをキャンセルさせたい場合は、コピーボタンを1秒以上押し続けて離します。コピー中のファイルがコピーされた時点で終了します。

- △注意**
- ・コピー中は、ダイレクトコピーランプ (HDD ランプ、USB ランプ) がどちらも点滅しています。
  - ・本製品からUSB マスストレージクラス製品への書き込みはできません。
  - ・32MB の画像データをコピーした場合、約2 ~ 3分かかります(USB マスストレージクラス製品の種類によってコピー時間は異なります)。



6 ダイレクトコピーランプ (HDD ランプ、USB ランプ) がどちらも消灯するのを確認します。

データのコピーが完了しました。本製品からUSB マスストレージクラス製品を取り外してください。

☑️ **メモ** ダイレクトコピーランプ（HDD ランプ、USB ランプ）の表示について

ダイレクトコピーランプ（HDD ランプ、USB ランプ）の表示からダイレクトコピー機能を使用する際の状態が分かります。

HDD ランプ (赤)	USB ランプ (赤)	状態
点灯	点灯	正常(コピー可能)
点滅	点滅	正常(コピー中)
消灯	消灯	正常(コピー終了)
消灯	早い点滅(*)	USB マスストレージクラス製品異常(接続異常 / コピー異常終了)
早い点滅(*)	消灯	本製品の異常(接続異常 / コピー異常終了)

\* 早い点滅は約 0.5 秒単位で点滅します（通常の点滅は1秒単位）。

本製品を認識中の場合は HDD ランプが、USB マスストレージクラス製品を認識中の場合は USB ランプが点滅（1秒単位）します。

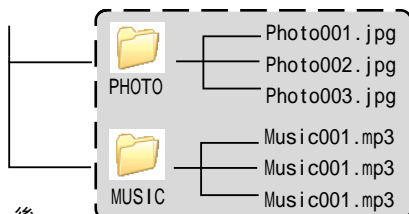
～ の場合に考えられる異常原因：

- ・ USB マスストレージクラス製品がパソコンと接続するときの設定になっていない
- ・ USB マスストレージクラス製品にメディアが正しく装着されていない
- ・ 接続した USB 機器が USB マスストレージクラス製品でない
- ・ 起動中のパソコンと本製品が接続されている
- ・ 本製品のフォーマット形式が FAT16/32 でない
- ・ 本製品の空き容量が不足している
- ・ 本製品の DIRECT フォルダ内に既に 99999999 フォルダが作成されている

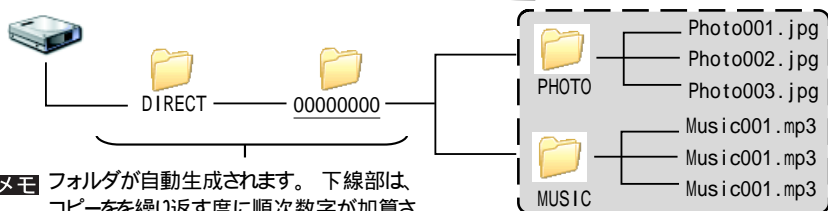
**メモ** ダイレクトコピー機能でコピーされたファイルの確認

ダイレクトコピー機能を使用してコピーされたデータは次のように本製品に保存されています。

コピー前  
USB マスストレージクラス製品



コピー後  
本製品



**メモ** フォルダが自動生成されます。下線部は、コピーをを繰り返す度に順次数字が加算されていきます。「00000000」～「99999999」全て使用していた場合はコピーできません。DIRECTフォルダ内のデータを他の場所に移動させてください。

- メモ**
- ・コピーが完了すると、DIRECTフォルダに「FIRMWER」フォルダが作成されます。このフォルダは、本製品のファームウェアをアップさせる場合に使用します。通常は使用しません。
  - ・作成されたフォルダの作成年月日はコピー元のフォルダと異なる場合があります。

## バックアップ

### バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

**△注意** ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

### バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- ・ フロッピーディスク
- ・ 光磁気ディスク (MO)
- ・ 増設ハードディスク
- ・ ネットワーク (LAN) サーバ
- ・ CD-R/RW
- ・ DVD-RAM
- ・ DVD-R/RW
- ・ DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にするをおすすめします。

**□メモ** Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください。(Windows98付属のバックアップツールの仕様です)。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

### バックアップデータの復元 (リストア)

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド/ツールは、一般的にバックアップコマンド/ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

# メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

## ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

- ❖ **メモ** ・エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
  - ・Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

## ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちこちに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちこちにアクセスしなくてはならないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

- ❖ **メモ** ・最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
  - ・Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

## 特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（ ）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。



# Disk Formatter のアンインストール (Windows)

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

- 1 [スタート]-[プログラム]-[MELCO INC]-[DISK FORMATTER]-[アンインストーラ]の順に選択します。
- 2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatter のアンインストールは完了です。

# 仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev2.0
コネクタ		USB シリーズ B コネクタ
セクタ容量		512Bytes
シークタイム		最大11msec
転送速度		最大480Mbps (※1)
出荷時フォーマット形式		FAT32 (パーティション)
外形寸法 (縦置き用スタンド付き)		68 (W) × 174 (H) × 180 (D) mm (突起物含まず)
消費電力		最大17W
電源		AC100V 50/60Hz
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80% (結露なきこと)
対応機種		USBコネクタを標準搭載する次のパソコン ・DOS/V機 (OADG仕様) ・NEC製 PC98-NXシリーズ ・Apple製 Power Mac G4シリーズ、Power Mac G4 Cube、 Power Macintosh G3シリーズ、 iMacシリーズ (※2)、iBookシリーズ 弊社製USBボード (別売) を搭載した次のパソコン ・DOS/V機 (OADG仕様) ・NEC製 PC98-NXシリーズ
対応OS	DOS/V機 PC98-NXシリーズ	WindowsXP/2000、WindowsMe (Millennium Edition)、 Windows98SE (Second Edition)、Windows98
	Macintosh	Mac OS8.6 (iMac DVを除く)、Mac OS9.0.4以降 Mac OS X 10.0.4以降

1 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード (最大転送速度 480Mbps) で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース (または USB2.0 に対応したパソコン本体) が必要です。

2 iMac DV で本製品を使用する場合は、Mac OS のバージョンが 9.1 または 9.0.4 である必要があります。

## ダイレクトコピー部

インターフェース	USB
コネクタ	USB シリーズ A コネクタ
転送速度	最大12Mbps
対応機種	USBマスタストレージクラス対応機器

## 保証書について

本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

## ユーザー登録について

弊社ホームページ(<https://online.buffalo.jp/>)にて、ユーザー登録できます。

ユーザー登録時、製品シリアルNo.の入力が必要となります。製品シリアルNo.は、製品本体にシールで貼り付けられていますので、パソコンに取り付ける前にご確認ください。

ユーザー登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

